

「公立大学法人大阪 各年度終了時における業務実績評価実施要領」新旧対照表

改正後	現行	備考
<p>公立大学法人大阪 各年度終了時における業務実績評価実施要領</p> <p>(略)</p> <p>1 評価の基本方針 (1) ~ (3) (略) (4) 評価により、法人の継続的な質的向上を<u>促進する</u>。</p> <p>2 評価方法 評価は「<u>全体評価</u>」と「項目別評価」による。 評価については、大学の教育・研究・<u>社会</u>貢献の活性化、法人の業務運営の改善等に資するよう、簡潔な表現で示すとともに、必要に応じて理由等を付すことを基本とする。</p> <p>(1) 項目別評価 ア 小項目評価 ① 法人の自己評価 法人は、年度計画の小項目ごとに、計画及び取組実績に基づき、次に掲げる<u>評価基準</u>により業務実績報告書に自己評価を記入する。</p>	<p>公立大学法人大阪 各年度終了時における業務実績評価実施要領</p> <p>(略)</p> <p>1 評価の基本方針 (1) ~ (3) (略) (4) 評価により、法人の継続的な質的向上を<u>促進すること</u>。</p> <p>2 評価方法 評価は「<u>全体的評価</u>」と「項目別評価」による。 評価については、大学の教育・研究・<u>地域</u>貢献の活性化、法人の業務運営の改善等に資するよう、簡潔な表現で示すとともに、必要に応じて理由等を付すことを基本とする。</p> <p>(1) 項目別評価 ア 小項目評価 ① 法人の自己評価 法人は、年度計画の小項目ごとに、計画及び取組実績に基づき、次に掲げる<u>記入要領</u>により業務実績報告書に自己評価を記入する。</p>	<p>・ 文言整理（表記統一）</p> <p>・ 文言整理（表記統一、見直し）</p> <p>・ 文言整理（表記統一）</p>

改正後	現行	備考
<p>[評価基準]</p> <p>V 年度計画を大幅に上回って実施している <u>(削除)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕著な実績又は特に優れた成果が認められる場合 <p>IV 年度計画を上回って実施している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画を上回る<u>取組</u>、実績又は成果を挙げた場合 <u>(削除)</u> <p>III 年度計画を順調に実施している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画どおりと認められる場合 <u>(削除)</u> <p>II 年度計画を十分に実施できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度がやや下回るもののおおむね計画どおりと認められる場合 <u>(削除)</u> <p>I 年度計画を大幅に下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画より大幅に下回る場合 <u>(削除)</u> <u>(削除)</u> 	<p>V 年度計画を大幅に上回って実施している。<u>(特に認める場合)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕著な実績又は特に優れた成果が認められる場合 <p>IV 年度計画を上回って実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画を上回る<u>取組み</u>、実績又は成果を挙げた場合 <u>・当該年度中に予定より早期に実施した場合</u> <p>III 年度計画を順調に実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画どおりと認められる場合 <u>・当該年度中に実施した場合</u> <p>II 年度計画を十分に実施できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度がやや下回るもののおおむね計画どおりと認められる場合 <u>・実施が翌年度の第1四半期にずれ込むが確実な実施が見込める場合</u> <u>(次年度の年度計画に影響しない場合に限る)</u> <p>I 年度計画を大幅に下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が計画より大幅に下回る場合 <u>・当該年度中に実施できなかった場合</u> <u>・計画設定そのものに問題がある場合</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・文言整理 (表記統一) ・文言整理 (表記統一) ・文言整理 (表記統一) ・文言整理 (表記統一、見直し) ・文言整理 (表記統一、見直し) ・文言整理 (表記統一、見直し)
<p>② 評価委員会の評価 (略) イ 大項目評価</p>	<p>② 評価委員会の評価 (略) イ 大項目評価</p>	

改正後	現行	備考
<p>評価委員会は、<u>小項目による段階別評価や取組実績等</u>を総合的に勘案し、次に掲げる大項目ごとに、中期計画の進捗状況について段階別評価を行う。</p> <p>① <u>大阪公立大学に関する措置</u></p> <p>② <u>大阪公立大学工業高等専門学校に関する措置</u></p> <p>③ <u>大阪府立大学及び大阪市立大学に関する措置</u></p> <p>④～⑦ (略)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>[評価基準]</u></p>	<p>評価委員会は、<u>小項目ごとの取組実績、法人の自己評価等</u>を総合的に勘案し、次に掲げる大項目ごとに、中期計画の進捗状況について段階別評価を行う。</p> <p>① <u>教育研究等の質の向上に関する措置 (大阪府立大学)</u></p> <p>② <u>教育研究等の質の向上に関する措置 (大阪市立大学)</u></p> <p>③ <u>教育研究等の質の向上に関する措置 (工業高等専門学校)</u></p> <p>④～⑦ (略)</p> <p>⑧ <u>両大学の統合等に関する措置</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言整理 (見直し) ・ <u>中期計画変更反映</u> ・ <u>中期計画変更反映</u> ・ <u>中期計画変更反映</u> ・ <u>中期計画変更反映</u> ・ 文言整理 (表記統一)
<p>S 中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある (評価委員会が特に認める場合)</p> <p>A 中期計画の達成に向けて計画どおり進捗している (すべてV～Ⅲ)</p> <p>B 中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進捗している (V～Ⅲの割合が9割以上)</p> <p>C 中期計画の達成に向けてはやや遅れている (V～Ⅲの割合が9割未満)</p> <p>D 中期計画の達成のためには重大な改善事項がある (評価委員会が特に認める場合)</p> <p>※ () の判断基準は目安であり、法人<u>を取り巻く</u>諸事情を勘案して総合的に判断する。</p> <p><u>(削除)</u></p>	<p>S 中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある (評価委員会が特に認める場合)</p> <p>A 中期計画の達成に向けて計画どおり進捗している (すべてV～Ⅲ)</p> <p>B 中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進捗している (V～Ⅲの割合が9割以上)</p> <p>C 中期計画の達成に向けてはやや遅れている (V～Ⅲの割合が9割未満)</p> <p>D 中期計画の達成のためには重大な改善事項がある (評価委員会が特に認める場合)</p> <p>※ () の判断基準は目安であり、法人の諸事情を勘案し、総合的に判断する。</p> <p><u>※法人が重点的に取り組んでいる事項にかかわる取組を考慮する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言整理 (見直し) ・ 文言整理 (表記統一)
(略)	(略)	

改正後	現行	備考
<p>(2) <u>全体評価</u> (略)</p> <p>3 評価の進め方 (1)、(2) (略) (3) 意見申立て機会の付与 評価委員会は、評価の透明性・正確性を確保するため、評価結果の決定に先立ち法人に評価結果（案）を示し、意見<u>申立て</u>の機会を付与する。</p> <p>4 (略)</p> <p>5 記述方法 (1) (略) (2) 付属資料 評価委員会における評価作業を効率的・効果的に実施するため、本体業務実績報告書に添付して、以下の付属資料を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人（大学）の基本的な統計データ（経年比較可能なもの） ・ 判断根拠の挙証資料 ・ 前年度評価に<u>おける</u>意見・指摘項目の取組状況 <p>6 (略) (略)</p>	<p>(2) <u>全体的評価</u> (略)</p> <p>3 評価の進め方 (1)、(2) (略) (3) 意見申立て機会の付与 評価委員会は、評価の透明性・正確性を確保するため、評価結果の決定に先立ち法人に評価結果（案）を示し、意見<u>申し立て</u>の機会を付与する。</p> <p>4 (略)</p> <p>5 記述方法 (1) (略) (2) 付属資料 評価委員会における評価作業を効率的・効果的に実施するため、本体業務実績報告書に添付して、以下の付属資料を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人（大学）の基本的な統計データ（経年比較可能なもの） ・ 判断根拠の挙証資料 ・ 前年度評価に<u>おいて</u>意見・指摘項目の取組状況 <p>6 (略) (略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言整理（表記統一） ・ 文言整理（表記統一） ・ 文言整理（表記統一）